

# 「東日本大震災から10年、被災地の今」 ～災害時の外国人支援～

2022年1月24日 @災害文化研究会

公益財団法人岩手県国際交流協会  
主査 大山 美和



# 岩手県国際交流協会について

## ●組織体制

設立：平成元年10月18日

国際交流センター(アイーナ5階)の運営委託

いわて外国人県民相談・支援センターの運営委託

対応言語：日本語、英語、中国語、フランス語、ベトナム語、スペイン語、韓国語



# 岩手県国際交流協会の事業

## ●3つの事業の柱

- ①交流による地域づくり
- ②多文化共生の地域づくり
- ③次代を担う人づくり

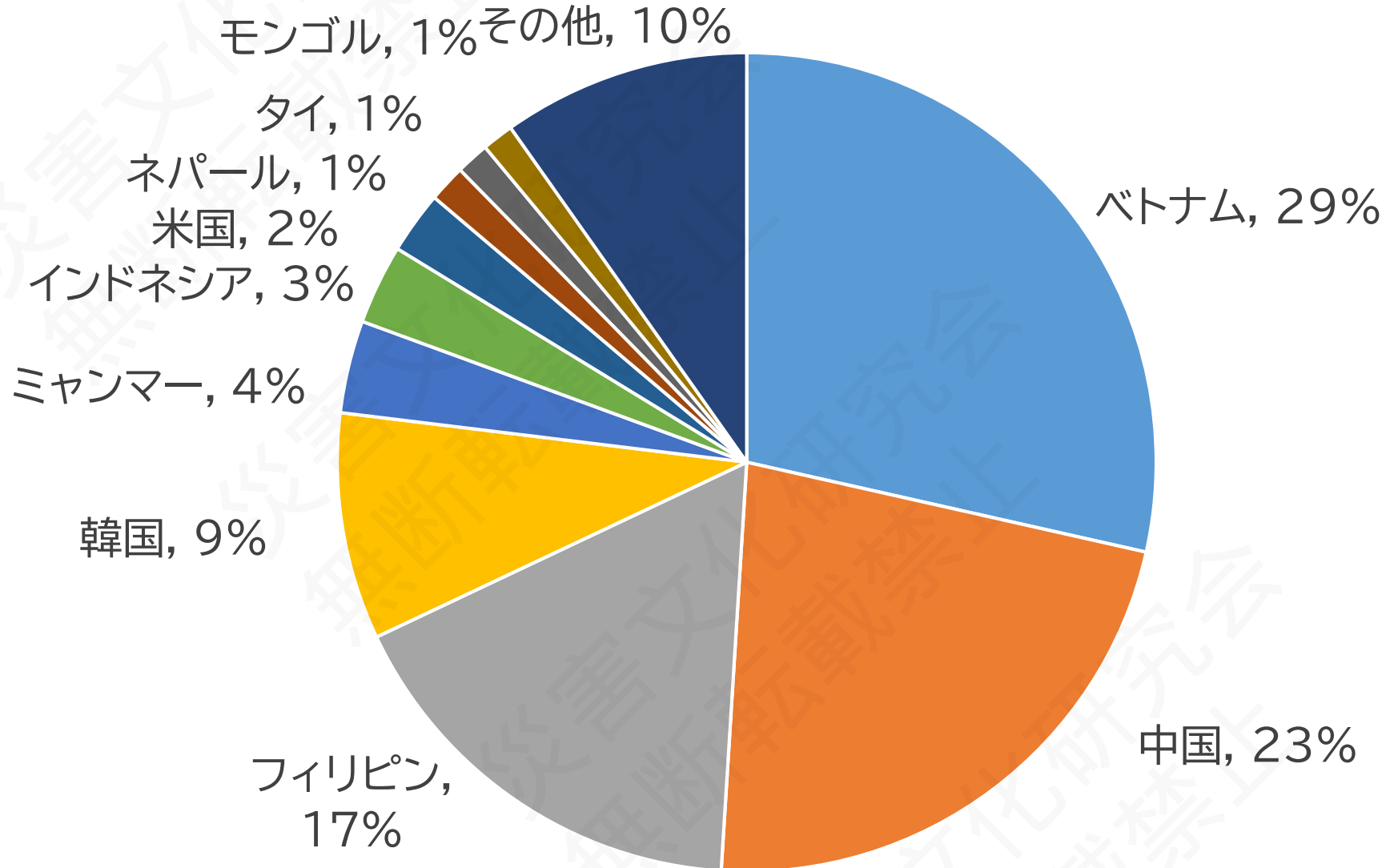
### ◆多文化共生とは

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく社会」

－総務省 地域における多文化共生推進プランより－

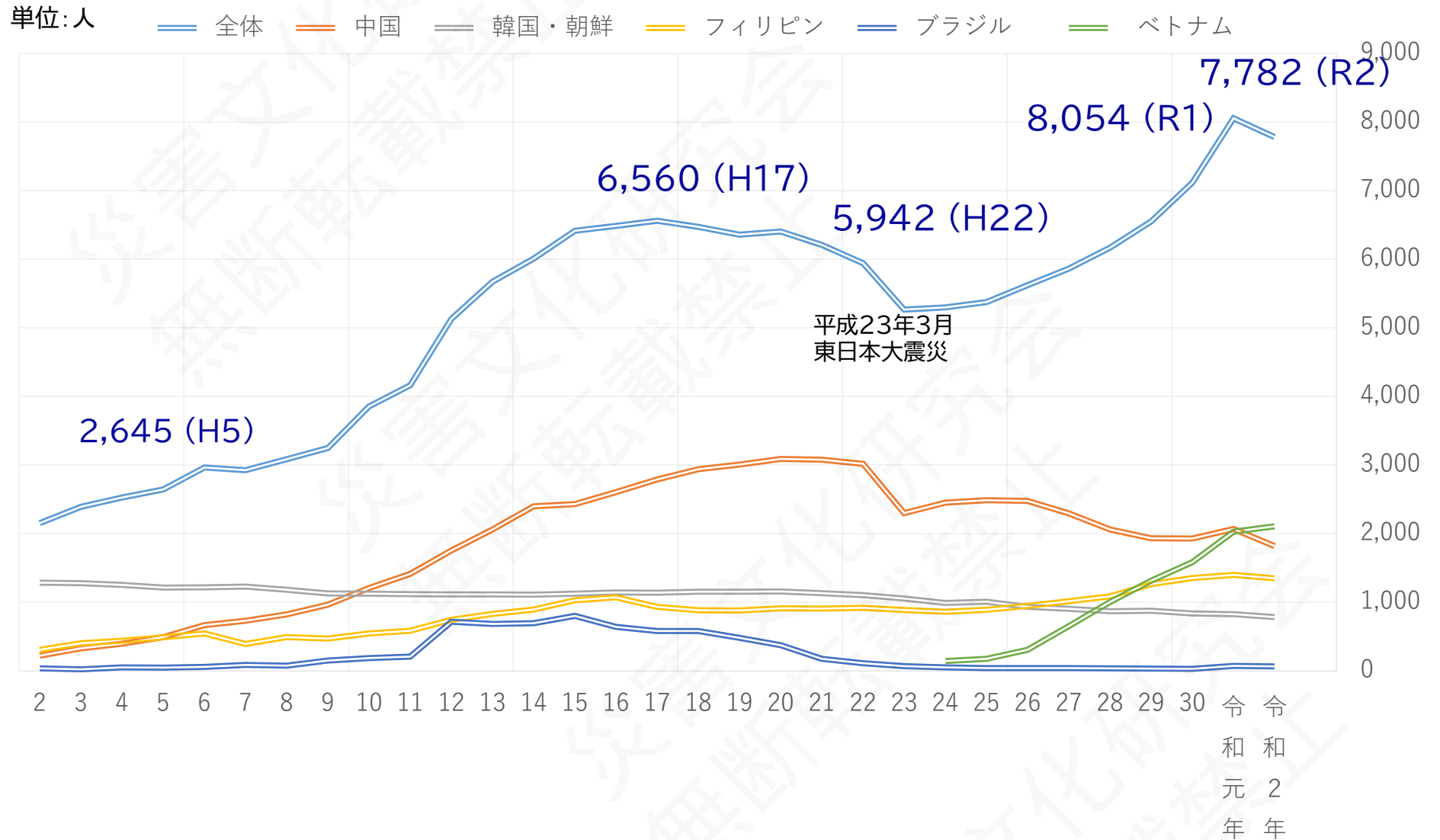
# 岩手県の在住外国人人数

7,695人  
(人口比 約0.6%)



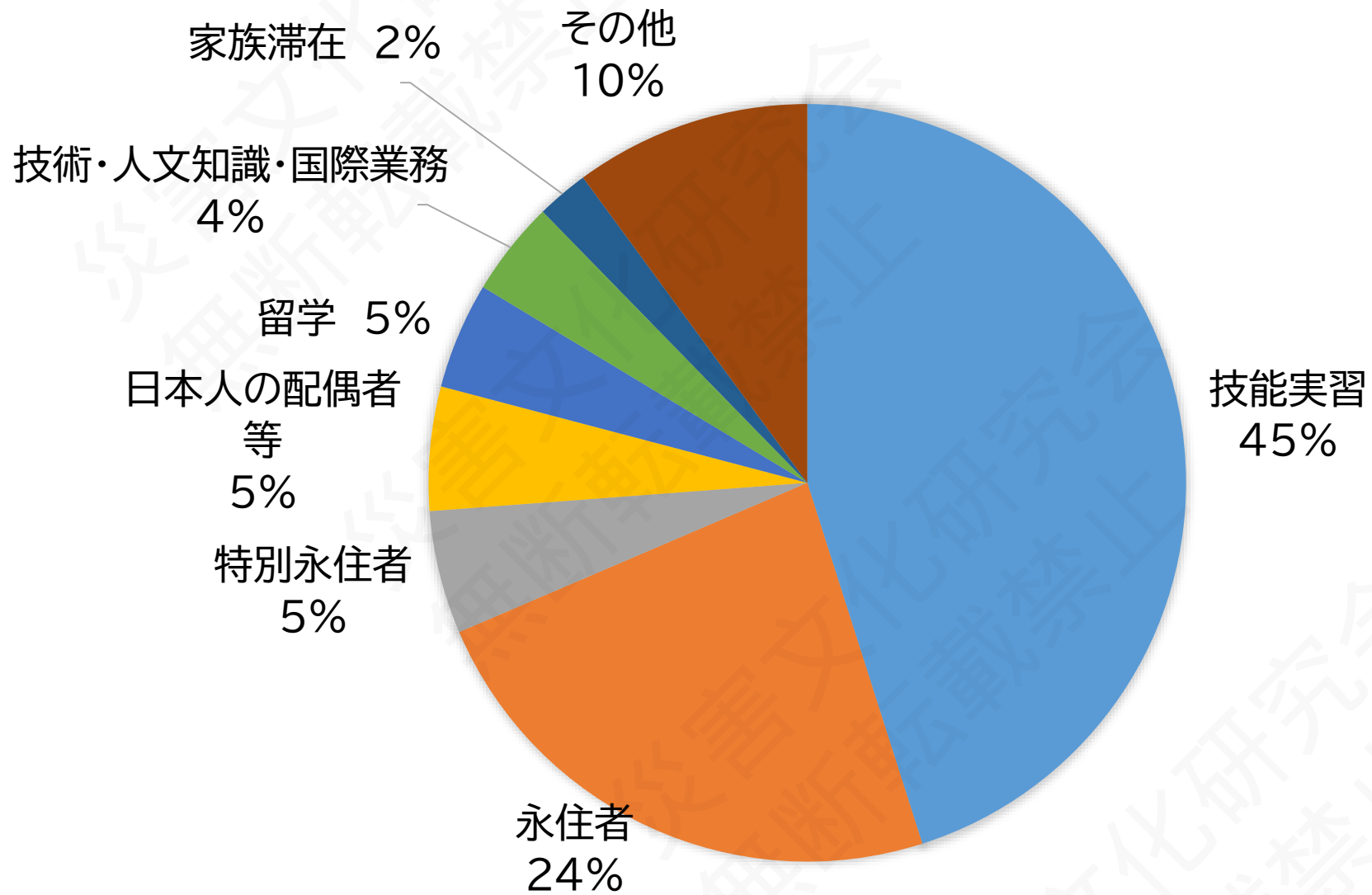
2021年6月末  
出入国在留管理庁 在留外国人統計(旧登録外国人統計)

# 岩手県内在住外国人数の推移



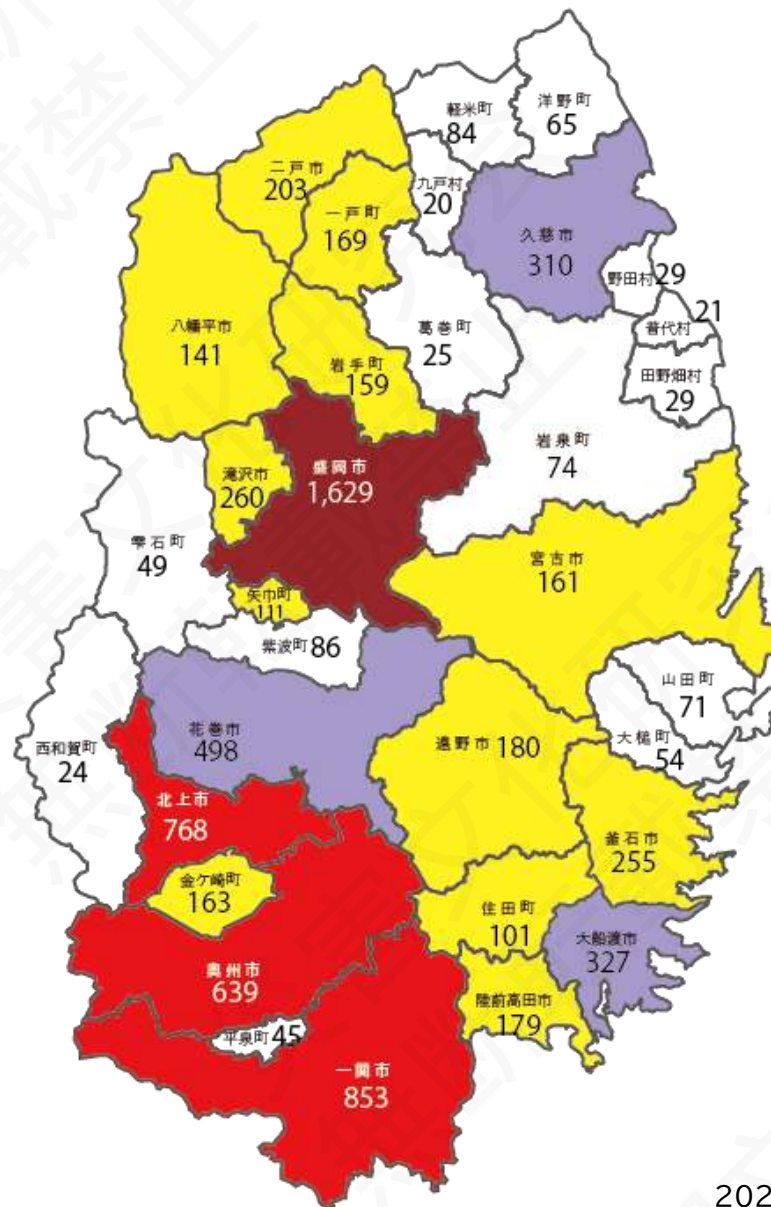
※12月末時点での各年の人数  
出入国在留管理庁 在留外国人統計(旧登録外国人統計)

# 岩手県内在住外国人人数(在留資格別)



2021年6月末現在  
出入国在留管理庁 在留外国人統計(旧登録外国人統計)

# 市町村別外国人住民登録者数



2020年12月末現在  
出入国在留管理庁在留外国人統計(旧登録外国人統計)

# 岩手県の外国人在住状況の特徴

- 技能実習生が多い
  - 中国、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ、ミャンマー、モンゴルなど多様な国籍。
  - 農業、漁業、水産加工、食品加工、縫製、建設、介護など。
- 散在地域
  - 外国人の姿が見えづらい ⇒ 支援が届きづらい

散在地域 ⇔ 集住地域

「外国人集住都市会議」13都市

【群馬県】太田市 | 大泉町

【長野県】上田市 | 飯田市

【静岡県】浜松市

【愛知県】豊橋市 | 豊田市 | 小牧市

【三重県】津市 | 四日市市 | 鈴鹿市 | 亀山市

【岡山県】総社市

外国人集住都市会議ホームページより <https://www.shujutoshi.jp/>



# 東日本大震災での外国人の状況

## •外国人数：5,942人

宮古市	160	大槌町	61
大船渡市	352	山田町	79
久慈市	223	岩泉町	44
陸前高田市	115	洋野町	67
釜石市	128	田野畑村	12
住田町	44	普代村	2
		野田村	19

2010年12月末  
岩手県 市町村別国籍(出身地)別外国人登録者

## •どういう人たち？

- 日本人の配偶者(多いのは中国、フィリピン)
- 技能実習生(中国)
- 語学指導助手など(英語圏)
- 外国人観光客(台湾、中国、韓国等)

# 岩手県国際交流協会の動き

発災

1日後

3日後

1週間後

2週間後

1か月後

## 避難誘導

来館者安全確保  
避難誘導

## 避難所対応(アイーナ)

外国人避難者への多言語情報提供  
移動等についての外国語での支援

## (主に国外からの)安否問合せ対応

## 各所からの問い合わせ

大使館・領事館、海外メディア、他の支援機関等からの状況確認・問い合わせ・支援提供 など

## 多言語情報発信・提供

## 主に英語、中国語、やさしい日本語

災害状況、避難所、  
交通機関の運行状況

災対本部からの情報  
(物資、病院、給水…)  
安否情報

大使館避難支援情報  
感染症、遺体安置、  
感染症、家屋危険度  
判定

在留資格に関する  
情報、医療費助成、  
健康保険

被災者に関する手続  
(罹災証明、資金貸付、  
応急仮設住宅)

ラジオでの多言語放送

ホームページ、SNSでの多言語発信

情報紙号外発行

## 被災地巡回・外国人相談対応



# 国ごとの状況

---

## •中国

- 帰国に関する問合せ多数
- 大使館(領事館)主導で中国人留学生、研修生など帰国へ。  
(窓口になっていたのは岩手大学留学生会)
- 国際結婚の方はあまり帰国していない様子。
- 研修生でも帰国していない方もいた。

## •フィリピン

- 大使館経由で名誉領事館が対応(安否確認、帰国情報等)

## •英国

- 市内のホテルに大使館担当者が宿泊し対応。

## •その他

- 留学生、外国語指導助手など続々帰国。

# 東日本大震災での外国人の状況



## 在住外国人の3.11

岩手県東日本大震災津波多言語記録集

公益財団法人岩手県国際交流協会(2013)より

### 韓国出身女性(大船渡)

地震の後、海に水が急に引いていくのを見ました。津波という言葉も知らなかった私は、ただ「これは何？」と思うだけでした

### 南米出身女性(陸前高田)

家の周りが津波に飲まれていて、帰宅しているはずの息子はもうダメだろうと思いました。身動きが取れず、その日はバスで夜を明かし、翌日近くの小学校に避難。3日目「どうしても帰りたい」と何人かの(水産加工会社の)同僚とともに戻った。そこで友人に出会い、家族全員が無事だと知る。

その頃故郷では、心配した家族が大使館に問合せ、情報提供を呼び掛けたが、一時は死亡したという情報が流れたという。直接電話で話すことができたのは4～5日後だった。

# 東日本大震災での外国人の状況

## フィリピン出身女性(陸前高田)

夫と義母と3人で自宅にいた。義母を車に乗せ、保育所に子どもを迎えに行くと、より海から離れた義姉の家に向かった。途中、波がすぐ来ているのを目撃。義姉宅に到着すると「波が来た！早く逃げて！」と叫びながら、子どもふたりを連れ走って逃げた。しかし夫、義姉夫婦、義母は「大丈夫」と言ってその場を離れず、波にのまれてしまう。数時間後、夫だけが泥だらけの姿で現れ、ほかの3人は津波の犠牲となった。

(中略)

その後、最初に避難所では知り合いがおらず、さびしい思いをしたが、車を持っているフィリピン人の友人が避難所を訪ねてきてくれたという。震災前からつながりが強かったフィリピン人のコミュニティ。「今も不安や悩みを共有できる大切な存在」と話す。

公益財団法人岩手県国際交流協会(2013) 在住外国人の3.11 岩手県東日本大震災津波多言語記録集 より

# 東日本大震災での外国人の状況

## 中国出身女性(陸前高田)、中国出身女性(陸前高田)

「当初は3000人ぐらいいて、座る場所もないほどだった」という避難所。住んでいた地区ごとにグループがつくられ、徐々に掃除や炊き出しの当番が決められていった。それらの「きまりごと」は、口頭及び掲示等で伝えられる。日本語の読み書きができ、かつ家族と一緒にだったふたりは、避難所での生活に必要な情報を手に入れることができた。しかし、日本語がわからなかったら、きっと何もできなかつただろうと話す。

「はじめの数日間、研修生の中国人グループも身を寄せていました。日本語がよくわからないために『水は必要最低限の量を大切に使う』などのルールを知らずに行動して、周りの人に怒られたりしていました。」

公益財団法人岩手県国際交流協会(2013) 在住外国人の3.11 岩手県東日本大震災津波多言語記録集 より

# 東日本大震災から見えてきたもの・課題

- それまでの想定では機能しない
  - 交通網・通信網が機能しない中での支援のあり方
  - 県土の広さ
  - ⇒ どうやって支援を届ける？
- 日頃からの人とのつながりの重要性
  - 被災地の国際交流協会や日本語教室の方々の存在
  - 自発的に駆けつけてくれた外国人・日本人の存在
  - ⇒ どうやってつながる？
- 「外国人コミュニティ」「キーパーソンの重要性」
  - 情報の信頼度、安心感
  - 国や国民性による違い
  - ⇒ 誰とつながる？ どことつながる？

# 外国人が直面する壁

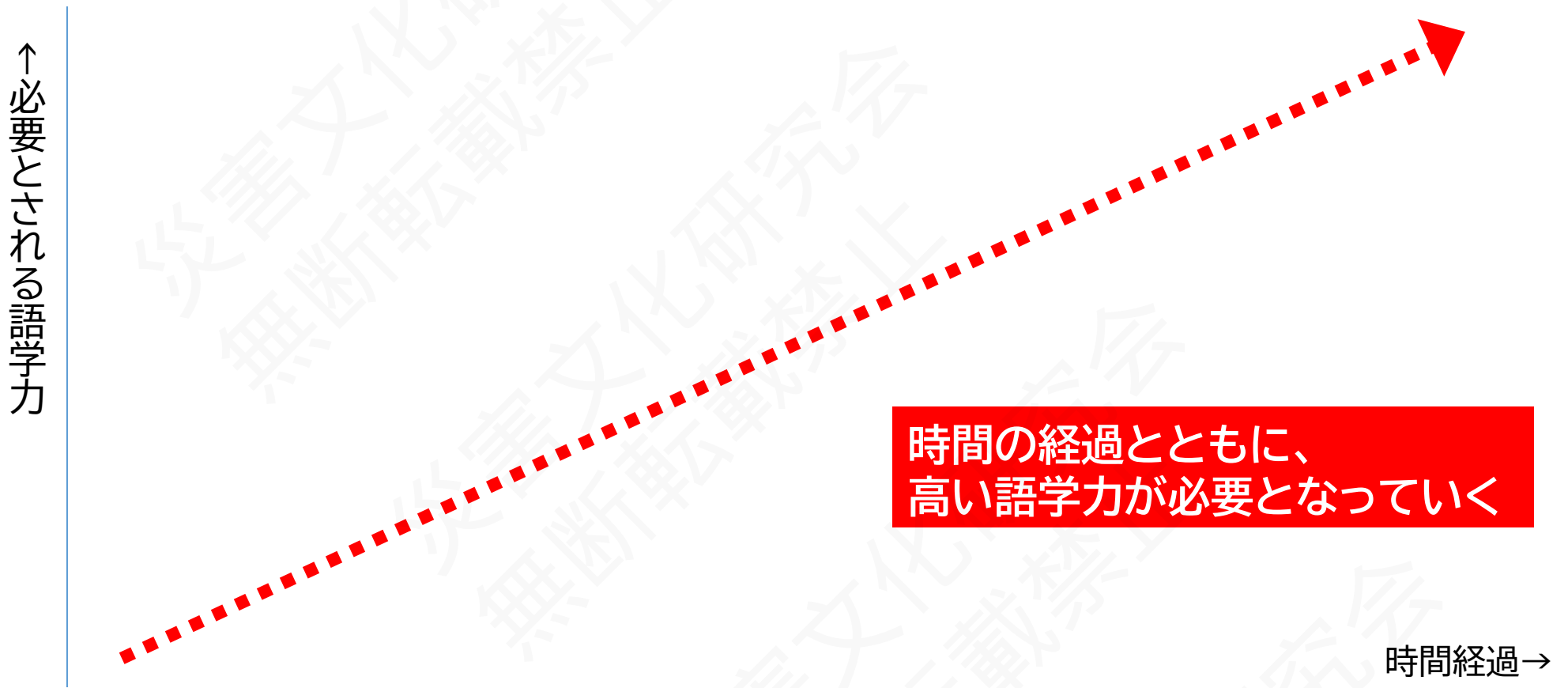
---

- 外国人が直面する壁
- 蓄積された情報量の違い

⇒危険情報や対応情報だけを受け取っても、  
適切な避難行動はとれない



# 時間の経過と必要な語学力



発災

1日後

災害状況、避難所、  
交通機関の運行状況

3日後

災対本部からの情報  
(物資、病院、給水…)  
安否情報

1週間後

大使館避難支援情報  
感染症、遺体安置、  
感染症、家屋危険度  
判定

2週間後

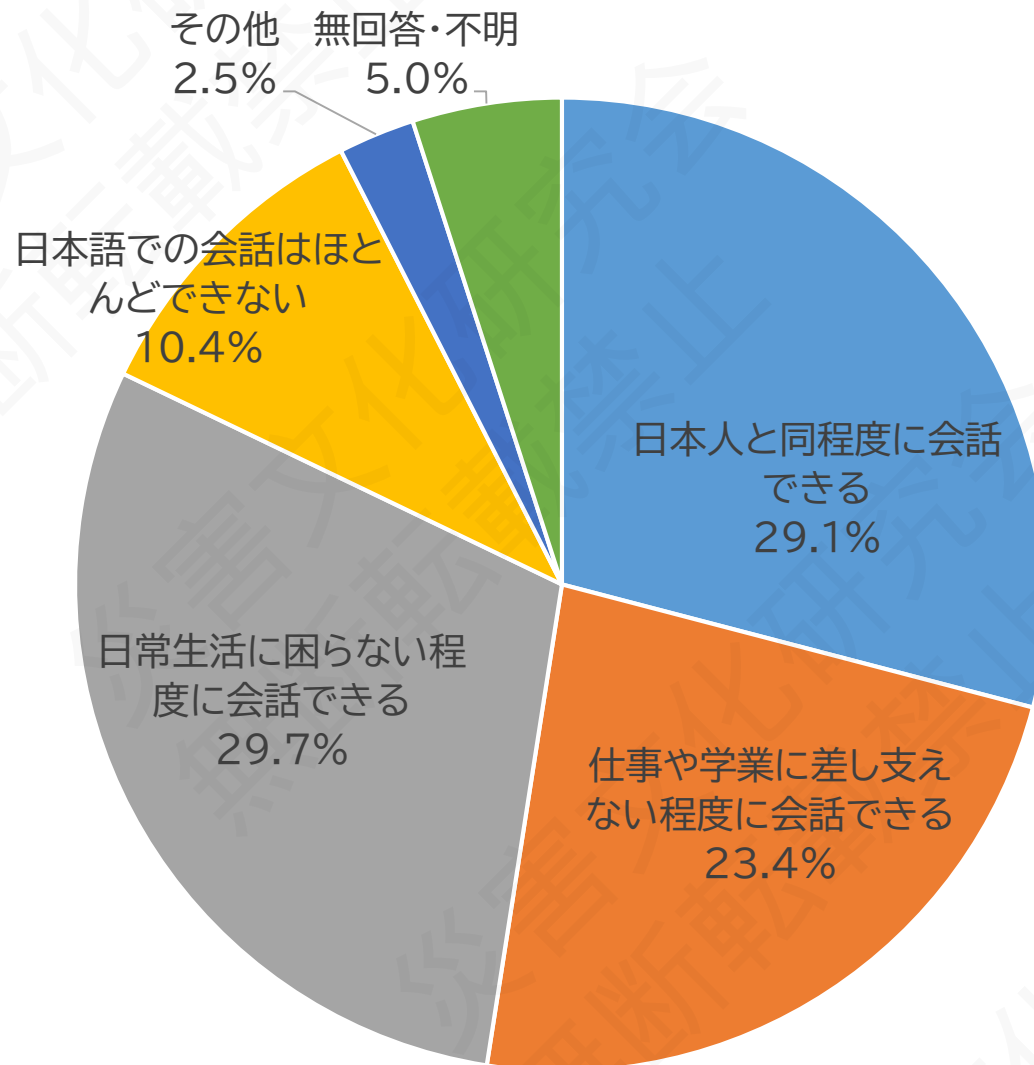
在留資格に関する  
情報、医療費助成、  
健康保険

1か月後

被災者に関する手続  
(罹災証明、資金貸付、  
応急仮設住宅)

(公財)岩手県国際交流協会(2017)「災害から外国人を守るためにできること」より

# 外国人の日本語習熟度について



公益財団法人人権教育啓発推進センター 平成28年度法務省委託調査研究事業「外国人住民調査報告書」, 2017

# やさしい日本語

---

- 外国人にも伝わりやすい、普通の日本人が話しているよりも簡単な日本語
- 1995年阪神・淡路大震災をきっかけに、弘前大学人文社会学部社会言語学研究室 佐藤 和之 名誉教授が最初に提唱
- 日本に住んで1年以上の外国人の80%以上が理解できる文法表現で伝える
- 「文法的な正しさ」よりも「伝わる」ことを重視
- ひとつの「答え」ではない

参考 佐藤和之, (公財)岩手県国際交流協会主催「やさしい日本語研修会」(2018年8月24日、9月7日)

# やさしい日本語を使うメリット

---

- より多くの外国人に伝わる
  - 母語に翻訳してもらえる方が増える
- 日本語がわからない外国人にも、ハーディング効果が期待できる※1
- 自分の耳で理解できる安心感
- 高齢者、子どもたちにも伝わりやすい
- 外国語翻訳や機械翻訳にも有効
- 誰でも発信者になれる
- 迅速さ

※1 佐藤和之, (公財)岩手県国際交流協会主催「やさしい日本語研修会」(2018年8月24日、9月7日)

# やさしい日本語で伝えきれないもの

- 正確性
- 情報量
- 細かなニュアンス

言い換えで表現しきれないものがある  
→ 場面や情報の中身に応じて、使い分けが必要

やさしい日本語

正確さ よりも 速さ

多言語翻訳・通訳

速さ よりも 正確さ



# 災害時外国人支援にかかる動き

---

- 総務省 災害時外国人支援情報コーディネーター
  - 地域国際化協会間の連携
    - 東北・北海道ブロック内での連携協定
      - 例 岩手県 ⇔ 東北・北海道ブロックの各協会
    - ブロック協議会間での連携
      - 例 東北・北海道ブロック ⇔ 関東ブロック
  - 災害多言語支援センター設置運営マニュアル
  - 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練
  - ツール(災害時多言語表示シート、災害時ピクトグラム等)
- 自治体国際化協会 <http://dis.clair.or.jp/open-data/>

# 災害時多言語支援窓口

---

在住外国人等が必要とされる情報を多言語やさしい日本語で提供するとともに、さまざまな相談に応じることにより、在住外国人等を支援することを目的として設置・運営するもの。

【設置主体】 岩手県

【運営主体】 公益財団法人岩手県国際交流協会

※国際交流センター管理運営業務受託者

【設置場所】 支援窓口は、国際交流センター内

# 災害時多言語支援窓口の活動

---

- ① 行政機関等から提供される災害関連情報の多言語化及び発信
- ② 外国人等の被災状況及び避難所での実態把握
- ③ 外国人被災者等のニーズ把握
- ④ ボランティア等の受入れ及び派遣等の調整
- ⑤ その他、外国人被災者等の支援に必要な業務



# 災害時多言語サポーター

---

災害が起きたときに、  
外国人が言葉や文化の違いのために適切な避難行動  
がとれない、  
避難所などで的確な支援が受けられない  
といったことが起こらないよう  
外国人を支援するために活動してくださる方



# 地域防災計画での「多言語サポーター」の位置づけ

## 「岩手県地域防災計画」

(災害対策基本法に基づき岩手県防災会議が作成する計画)

### 本編 第2章 災害予防計画

#### 第6節 要配慮者の安全確保計画

#### 第2 実施要領

#### (3) 情報伝達および案内表示板の整備

○市町村は、災害時において外国人が迅速かつ的確に避難することができるよう、多言語ボランティア等の協力を得て、多言語等による避難勧告等の伝達手段の確保に努める。

#### (5) ボランティアの育成等

○県及び市町村は、国際交流関係団体等の協力を得て、災害時において通訳等を行う多言語ボランティアの養成、登録、研修を行う。

# 災害時多言語サポーターの活動内容

要請に応じて活動いただきたいこと

- ・各機関からの要請があった場合に、通訳・翻訳を行うこと

(例)

## (1) 災害時多言語支援窓口

- ・ 外国人からの相談時の通訳
- ・ 聞き取り調査での通訳
- ・ 海外からの問い合わせ対応
- ・ 多言語での発信

## (2) 災害関係機関や支援団体からの要請

- ・ 市町村などからの通訳翻訳依頼
- ・ 国際機関、NGOなどからの通訳翻訳依頼

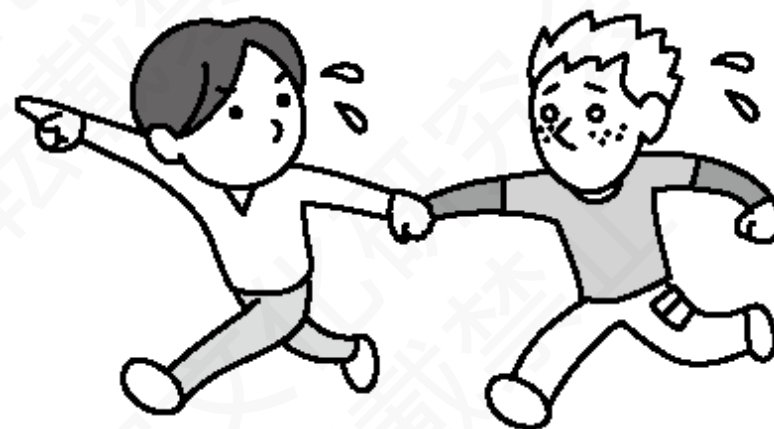
# 災害時多言語サポーターの活動内容

自主的に活動いただきたいこと

- ・災害が起こったときに身近にいる外国人の方を導き、支援をすること

(例)

- ・ 近くの外国人への避難誘導
- ・ 情報伝達
- ・ 地域の外国人のサポート  
(連絡役になる)



# 課題

---

- 市町村・市町村国際交流協会との連携
- 多様性への対応
- 周囲の人々の理解促進
- 地域のキーパーソンとのつながり
- 地域の中での取り組みの深化
- 外国人のストック情報への働きかけ・自助意識の高まり
- それぞれの活動の中での外国人への対応

**⇒外国人を「災害弱者」ではなく、地域の支援の担い手に！**